

## 2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社和心 上場取引所 東  
コード番号 9271 URL <https://www.wagokoro.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 森 智宏  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部副部長 (氏名) 布村 秀樹 (TEL) 050-5243-3871  
定時株主総会開催予定日 2025年3月28日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	2,094	57.4	416	756.3	389	—	398	—
2023年12月期	1,330	33.5	48	—	11	—	△13	—

(注) 包括利益 2024年12月期 318百万円(—%) 2023年12月期 △8百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	62.67	53.59	129.2	33.8	19.8
2023年12月期	△2.72	—	△6.9	1.3	3.6

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 △26百万円 2023年12月期 △12百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	1,275	568	40.7	81.06
2023年12月期	1,024	142	9.4	15.31

(参考) 自己資本 2024年12月期 百万円 2023年12月期 101百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	197	△192	△99	190
2023年12月期	△345	△26	533	284

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2025年12月期の配当予想につきましては、未定としております。

## 3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,800	33.6	300	△27.9	289	△25.7	250	△37.1	38.98

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社 (社名)株式会社WALA 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2024年12月期	6,412,500株	2023年12月期	6,302,500株
2024年12月期	一株	2023年12月期	一株
2024年12月期	6,355,970株	2023年12月期	4,941,838株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績 (2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	1,978	55.8	395	—	395	—	380	—
2023年12月期	1,269	31.9	27	—	2	—	△42	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年12月期	59.90		51.22					
2023年12月期	△8.64		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年12月期	1,035		405		36.4		58.87	
2023年12月期	826		△0		△3.4		△4.48	

(参考) 自己資本 2024年12月期 405百万円 2023年12月期 △28百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	1
(1) 当期の経営成績の概況 .....	1
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	2
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 連結貸借対照表 .....	3
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	6
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（自2024年1月1日至2024年12月31日）におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな持ち直しが見られました。しかし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクになっており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する小売・サービス業界は、アフターコロナにおいて消費者の購買行動が順調に回復する中でも、食材価格や労働力不足による人件費上昇など、収益性の改善については厳しい状況は依然として続いております。また、2024年1月～12月の訪日外客数は約3,686万人となり、前年の年間訪日外客数を上回り（出典：日本政府観光局(JNTO)）、インバウンド需要は順調に推移しております。

このような経済環境の下、当社は「日本のカルチャーを世界へ」を経営理念に「日本文化を感じるモノを作り販売する」モノ事業及びその他事業の強化に引き続き取り組みました。個人消費や国内観光の回復や訪日外客数が増加していることから来店客数も増加（前年同期比52.3%増）しております。

当連結会計年度においては来店客数が前年同期比52.3%と増加したため増収となりました。出来店につきましては、当連結会計年度において出店は7店舗、退店は4店舗であり、当連結会計年度末の店舗数は合計26店舗（前連結会計連結年度末比4店舗増）となりました。一方で、店舗関連費用の削減に取り組み、販売費及び一般管理費は1,005,531千円となりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高2,094,946千円（前年同期比57.4%増）、営業利益416,586千円（前年同期比756.5%増）、経常利益は389,016千円（前年同期比3,377.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益398,330千円（前年同期は13,465千円の損失）となりました。

また、当連結会計年度には株式会社WALAの株式を取得し連結子会社となりました。株式会社WALAは障害者を応援するB型就労支援施設を運営しており、既存事業とのシナジー効果を生み出し、グループ全体の企業価値向上を目指してまいります。

なお、前々連結会計年度においてコト事業を事業譲渡したことに伴いコト事業を廃止しており、前第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### (モノ事業)

モノ事業においては、観光客の増加や催事を25回行うことにより増収となりました。出店につきましては〔北斎グラフィック〕を6店舗と〔箸や万作〕を1店舗を出店しました。当連結会計年度末における店舗数は、〔かんざし屋wargo〕8店舗（前連結会計年度末比±0）、〔The Ichi〕3店舗（同±0）、〔北斎グラフィック〕11店舗（同6店舗増）、〔箸や万作〕3店舗（同1店舗増）、〔猫まっしぐら〕0店舗（同2店舗減）、〔1円着物wargo〕1店舗（同2店舗減）、合計26店舗（同4店舗増）となりました。その他、ネット通販、OEMサービス等も行っております。

その結果、モノ事業の売上高は1,979,069千円（前年同期比56.2%増）、セグメント利益は577,892千円（前年同期比8.2%減）となりました。

#### (その他事業)

その他事業においては、子会社であるマイグレ株式会社により、静岡県を中心に空き家をリノベーションした不動産賃貸業及び宿泊施設を運営、株式会社WALAにより、障害者を支援するB型就労支援施設および農園を運営しております。

この結果、当連結会計年度におけるその他事業の売上高は134,836千円（前年同期比195.3%増）、セグメント利益は20,323千円（前年同期比84.7%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて171,402千円増加し841,050千円となりました。これは主に現金及び短期貸付金が128,558千円、商品が46,289千円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて79,357千円増加し434,414千円となりました。これは主に敷金が36,211千円、のれんが21,918千円増加したことなどによります。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて250,760千円増加し1,275,465千円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて192,798千円減少し611,600千円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が94,146千円、預り金が54,945千円減少したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて18,179千円増加し95,509千円となりました。これは主にその他固定負債が14,093千円減少したことなどによります。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて174,618千円減少し707,110千円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて425,379千円増加し568,354千円となりました。これは主に利益剰余金が1,297,378千円増加したことなどによります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における資金は190,414千円（前年同期比93,725千円減）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は197,852千円（前年同期は345,339千円の支出）となりました。この主な要因は、税引前当期純利益421,083千円、棚卸資産の増減額△49,513千円、かいかけき n の増減額△25,400千円等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は192,411千円（前年同期比166,141千円減）となりました。この主な要因は、貸付金の貸付による支出113,300千円等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は99,166千円（前年同期は533,111千円の取得）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出114,264千円等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、2024年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行後、個人消費の持ち直し、インバウンド需要の復調など経済活動が正常化に向かう一方、ウクライナや中東地域をめぐる情勢長期化による資源や原材料価格の高騰など依然として先行き不透明な状況が続くことが考えられます。また、客数が順調に回復する中でも、エネルギー価格や原材料の仕入価格高騰及び円安による物価上昇、人件費の高騰などが懸念されており、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。

当社グループのモノ事業は主に店舗運営により行っており、2025年12月期は引き続き積極的な出店を予定しております。2025年12月期の見通しにつきましては、モノ事業は、引き続き催事の強化を進めてまいりますとともに、出店に関しましては、立地条件、契約条件、競合、収益性等を精査しながら総合的かつ慎重に検討を行い、家賃減額交渉も継続しながら、周辺領域への新規展開も行うことで収益の多様化を図ってまいります。

コスト面につきましては、全店舗について家賃減額の交渉、人件費の削減、本社機能の縮小などを行ってまいりました。本社及び店舗の運営費用の削減等引き続き経費の削減に努力してまいります。

以上により、2025年12月期の連結業績予想は、売上高2,800百万円、営業利益300百万円、経常利益289百万円、親会社株主に帰属する当期純利益250百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	284,139	190,414
売掛金	101,555	95,103
商品	162,296	208,586
前渡金	27,989	105,491
短期貸付金	16,000	128,558
その他	77,666	112,896
流動資産合計	669,648	841,050
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	46,731	85,089
土地	53,299	61,228
建設仮勘定	59,753	20,253
その他(純額)	7,344	11,463
有形固定資産合計	167,129	178,034
無形固定資産		
ソフトウェア	1,540	562
のれん	—	21,918
その他	64	64
無形固定資産合計	1,604	22,544
投資その他の資産		
関係会社株式	74,158	75,115
敷金	91,191	127,402
その他	20,973	31,316
投資その他の資産合計	186,322	233,834
固定資産合計	355,056	434,414
資産合計	1,024,704	1,275,465
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,251	49,330
短期借入金	79,651	73,741
1年内返済予定の長期借入金	375,875	281,728
未払金	108,832	116,727
未払法人税等	40,665	15,290
未払消費税等	6,168	9,504
前受金	30,595	21,837
預り金	70,985	16,039
賞与引当金	4,713	4,853
その他	12,659	22,546
流動負債合計	804,398	611,600
固定負債		
長期借入金	72,351	77,938
訴訟損失引当金	4,671	3,171
その他	306	14,400
固定負債合計	77,330	95,509
負債合計	881,728	707,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	936,556	50,000
資本剰余金	941,904	954,395
利益剰余金	△1,781,973	△484,594
株主資本合計	96,488	519,801
新株予約権	27,555	27,618
非支配株主持分	18,931	20,934
純資産合計	142,975	568,354
負債純資産合計	1,024,704	1,275,465

## (2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,330,928	2,094,946
売上原価	421,726	672,828
売上総利益	909,201	1,422,118
販売費及び一般管理費	860,555	1,005,531
営業利益	48,646	416,586
営業外収益		
受取利息	3	31
為替差益	439	4,438
受取手数料	6,000	3,283
償却債権取立益	—	2,700
その他	2,899	2,065
営業外収益合計	9,342	12,518
営業外費用		
支払利息	5,630	6,101
関係会社株式売却損	—	43
株式交付費	13,183	255
貸倒損失	14,633	—
持分法による投資損失	12,854	26,702
その他	500	6,984
営業外費用合計	46,802	40,088
経常利益	11,187	389,016
特別利益		
固定資産売却益	17,006	5,412
持分変動利益	17,207	27,785
助成金収入	—	—
関係会社株式売却益	—	—
事業譲渡益	—	—
特別利益合計	34,214	33,198
特別損失		
減損損失	11,967	—
固定資産除却損	—	1,132
損害賠償金	18,000	—
訴訟損失引当金繰入額	4,671	—
特別損失合計	34,639	1,132
税金等調整前当期純利益	10,762	421,083
法人税、住民税及び事業税	21,102	20,748
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	21,102	20,748
当期純利益又は当期純損失(△)	△10,340	400,334
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△13,465	398,330
非支配株主に帰属する当期純利益	3,125	2,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	—
その他の包括利益合計	—	—
包括利益	△10,340	400,334
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△13,465	398,330
非支配株主に係る包括利益	3,125	2,003



## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2023年1月1日 至2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計
当期首残高	640,393	645,741	△1,768,507	△482,373	—	—
当期変動額						
新株の発行	296,163	296,163	—	592,327	—	—
新株の発行(新株予 約権の行使)	—	—	—	—	—	—
減資	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属す る当期純利益又は親 会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	△13,465	△13,465	—	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	296,163	296,163	△13,465	578,861	—	—
当期末残高	936,556	941,904	△1,781,973	96,488	—	—

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	24,746	15,806	△441,820
当期変動額			
新株の発行	—	—	592,327
新株の発行(新株予 約権の行使)	—	—	—
減資	—	—	—
欠損填補	—	—	—
親会社株主に帰属す る当期純利益又は親 会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	△13,465
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	2,809	3,125	5,934
当期変動額合計	2,809	3,125	584,796
当期末残高	27,555	18,931	142,975

当連結会計年度(自2024年1月1日 至2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計
当期首残高	936,556	941,904	△1,781,973	96,488	—	—
当期変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	—
新株の発行(新株予 約権の行使)	12,491	12,491	—	24,982	—	—
減資	△899,047	899,047	—	—	—	—
欠損填補	—	△899,047	899,047	—	—	—
親会社株主に帰属す る当期純利益又は親 会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	398,330	398,330	—	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	△886,556	12,491	1,297,378	423,312	—	—
当期末残高	50,000	954,395	△484,594	519,801	—	—

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	27,555	18,931	142,975
当期変動額			
新株の発行	—	—	—
新株の発行(新株予 約権の行使)	△122	—	24,860
減資	—	—	—
欠損填補	—	—	—
親会社株主に帰属す る当期純利益又は親 会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	398,330
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	184	2,003	2,188
当期変動額合計	62	2,003	425,379
当期末残高	27,618	20,934	568,354

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	10,762	421,083
減価償却費	18,768	16,507
のれん償却額	—	371
賞与引当金の増減額 (△は減少)	615	139
受取利息及び受取配当金	△3	△31
助成金収入	—	—
支払利息	5,630	6,101
固定資産売却損益 (△は益)	△17,006	△5,412
固定資産除却損	—	1,132
減損損失	11,967	—
損害賠償金	18,000	—
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	4,671	△1,500
貸倒損失	14,633	—
持分変動損益 (△は益)	△17,207	26,702
持分法による投資損益 (△は益)	12,854	△27,785
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	43
事業譲渡損益 (△は益)	—	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△47,821	16,904
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△101,854	△49,513
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,019	△25,400
未払金の増減額 (△は減少)	△22,482	8
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△53,682	3,336
預り金の増減額 (△は減少)	△39,113	△55,052
その他	△54,594	△91,348
小計	△272,882	236,287
利息及び配当金の受取額	3	31
利息の支払額	△5,630	△6,101
助成金の受取額	—	—
損害賠償金の支払額	△18,000	—
法人税等の支払額	△48,829	△32,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	△345,339	197,852
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△65,280	△55,969
有形固定資産の売却による収入	52,101	18,031
無形固定資産の取得による支出	△1,552	—
子会社株式の取得による支出	—	△5,498
関係会社株式の売却による収入	—	82
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△16,000	△112,558
敷金の差入による支出	△8,008	△36,699
事業譲渡による収入	—	—
保証金の回収による収入	5,116	—
敷金の回収による収入	7,352	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,270	△192,411

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△3,549	△9,578
長期借入金の返済による支出	△58,315	△114,264
リース債務の返済による支出	△368	△368
株式の発行による収入	592,327	24,860
新株予約権の発行による収入	3,016	184
財務活動によるキャッシュ・フロー	533,111	△99,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	161,501	△93,725
現金及び現金同等物の期首残高	122,638	284,139
現金及び現金同等物の期末残高	284,139	190,414

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは製品・サービス別のセグメントから構成されており、「モノ事業」「その他事業」の2つを報告セグメントとしております。

「モノ事業」においては、①かんざしを始めとしたオリジナル商品の店舗販売、②小売店舗の運営経験を活かしたOEMでの販売、及び③オリジナル商品のインターネット上での通信販売を行っております。

「その他事業」では、連結子会社であるマイグレ株式会社が不動産賃貸業等、株式会社WALAが障害者を支援するB型就労支援施設および農園を運営を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

## I 前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	モノ事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,266,353	64,575	1,330,928	—	1,330,928
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	2,760	2,760	△2,760	—
計	1,266,353	67,335	1,333,688	△2,760	1,330,928
セグメント利益又は 損失(△)	629,733	21,545	651,297	△602,651	48,646
セグメント資産	264,952	414,562	679,514	345,189	1,024,704
その他の項目					
減価償却費	6,088	10,512	16,601	2,167	18,768
減損損失	11,967	—	11,967	—	11,967
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	33,359	10,485	43,844	△42,153	1,690

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない本社管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない現金及び預金、管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の増加であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益又は損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

なお、前連結会計年度において、コト事業を事業譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間から「コト事業」の報告セグメントを廃止しております。

## II 当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	モノ事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,962,869	132,076	2,094,946	—	2,094,946
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,200	2,760	18,960	△18,960	—
計	1,979,069	134,836	2,113,906	△18,960	2,094,946
セグメント利益又は 損失(△)	577,892	20,323	598,216	△181,630	416,586
セグメント資産	352,293	257,323	609,616	665,848	1,275,465
その他の項目					
減価償却費	5,006	10,273	15,384	1,516	16,901
減損損失	—	—	—	—	—
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	10,287	24,146	34,434	△2,587	31,846

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない本社管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない現金及び預金、管理部門に係る資産であります。
  - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の増加であります。
2. セグメント利益又は損失は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益又は損失と調整を行っております。

## 【関連情報】

I 前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	モノ事業(注1)	その他事業(注2)	合計
外部顧客への売上高	1,266,353	64,575	1,330,928

(注) 1. モノ事業とは、かんざし、帯留め、傘、シルバーアクセサリー等の商品であります。  
2. その他事業とは、子会社による不動産賃貸事業等であります。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益及び包括損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益および包括利益計算書の売上高の10%以上を占める相手がいないため、記載はありません。

II 当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	モノ事業(注1)	その他事業(注2)	合計
外部顧客への売上高	1,962,869	132,076	2,094,946

(注) 1. モノ事業とは、かんざし、帯留め、傘、シルバーアクセサリー等の商品であります。  
2. その他事業とは、子会社による不動産賃貸事業、障害者を支援するB型就労支援施設および農園を運営等あります。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益及び包括損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益および包括利益計算書の売上高の10%以上を占める相手がいないため、記載はありません。



## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

I 前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	モノ事業	その他事業	計	全社・消去	連結財務諸表 計上額
減損損失	11,967	—	11,967	—	11,967

II 当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	モノ事業	その他事業	計	全社・消去	連結財務諸表 計上額
減損損失	—	—	—	—	—

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

I 前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	モノ事業	その他事業	計	全社・消去	連結財務諸表 計上額
当期償却額	—	—	—	—	—
当期末残高	—	—	—	—	—

II 当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	モノ事業	その他事業	計	全社・消去	連結財務諸表 計上額
当期償却額	—	371	371	—	371
当期末残高	—	21,918	21,918	—	21,918

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	15.31円	81.06円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△2.72円	62.67円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—円	53.59円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△13,465千円	398,330千円
普通株主に帰属しない金額	—千円	—千円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△13,465千円	398,330千円
普通株式の期中平均株式数	4,941,838株	6,355,970株
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	—千円	—千円
普通株式増加数	—株	1,076,686株
(うち新株予約権)	(—株)	(1,076,686株)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
純資産の部の合計額	142,975千円	568,354千円
純資産の部の合計額から控除する金額(△)	△46,487千円	△48,553千円
(うち新株予約権)	(27,555千円)	(27,618千円)
(うち非支配株主持分)	(18,931千円)	(20,934千円)
普通株式に係る期末の純資産額	96,488千円	519,801千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数	6,302,500株	6,412,500株

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

